

# 文教民生 委員会

## ●国保税率（能代介護分）を改正

国保会計の見直しや医療費の抑制対策、国保税率の統一について触れられ、平成19年度以降も赤字が見込まれ、改正の検討が必要。医療費の抑制につながる健康づくり支援を進める。二ツ井においては、十分な財政調整基金もあり、3年間は現状維持していくとの答弁があった。

国保加入者の多くは低所得層であり、昨年に続いての引き上げには厳しいものがあることから認めがたいとの一部意見があったが、条例、予算とも多数で可決した。

## ●能代市立学校条例の

### 一部改正

淳城3校再編に当たった教育委員会の考え方について触れられ、子供たちに等しくよりよい教育環境を提供したいという考え方が基本にある。淳城3校は地理的にも近く、子供たちが等しく競い合える環境もつくれるとの考えか

ら3校廃止2校新設となったとの答弁があった。

## ●一般会計予算について

国体の地域経済への波及効果について触れられ、市内の宿泊施設の対応状況は、能代で1293人、二ツ井で135人、宿泊定員の8割を提供可能だ。市内の施設を利用いただければ、相当金額が能代地区に及ぼされる。活用していただけるよう要望していくとの答弁があった。

## ●高齢者外出支援サービス事業の移送サービスへの取り組みについて

触れられ、ニーズの高まりが予想されるので、研究していきたいとの答弁があった。

## ●新規事業である学校生活サポート事業について

触れられ、普通学級で理解面でおくれている子供等に非常勤職員が支援していく事業で、今年度8人の非常勤職員をお願いしているとの答弁があった。

## ●このほかスクールバスの対応やふれあいプラザ管理費等にも触れられ活発な審議が行われた。

事務の調査では、高額介護サービス費の支払いのおくれについて報告があり、今後チェック体制の構築に努めるとのことであった。

(菊地)

# 委員会審査報告

# 建設 委員会

## ●中川原地区・向能代地区の整備事業

松山川運河改修事業もあるので総事業的に計画どおり実施できるのか、との質疑に対し、中川原地区は平成22年度までに、向能代地区は平成20年度までに整備する予定である。松山川運河改修事業は、平成5年度から平成23年度までの計画で中川原地区整備事業と連携しながら進めなければならない。現在の事業費ベースでの進捗率は57%である。計画に沿って進めていきたい、との答弁があった。

## ●除雪対策について

今冬の大雪で建設部としての対応と今後の対策はどのように考えるのか、との質疑に対し、災害対策本部を1月8日に設置し、市道の除雪、高齢者等への対応や自治会の取り組み等を組織全体で対応した。今後は、行政だけで100%実施は困難で、住民の協力を確保し、課題である雪捨て場等の確保について、除雪計画を策定し、降雪期に備えたい、と

の答弁があった。

## ●河畔公園整備事業について

河畔公園整備事業は、平成24年度までの事業となっているが、見直しはできないか、との質疑に対しては、これまでは施設中心に整備を進めてきたが、今後は休息、癒しの場所として整備を継続するとともに、緊急の場合は、総合体育館を含め、非難場所として利用したい、との答弁があった。

## ●簡易水道事業について

簡易水道事業（鶴形、富根、仁鮎）の水道使用料負担の方向性は、との質疑に対し、維持管理は使用料で100%賄っていくことが原則であることから統一されていない。現在の使用料に差があるので、料金の方については今後全体を考えた中で検討する必要がある、との答弁があった。また、富根、仁鮎の簡易水道の水源と水質の状況について、水源はそれぞれ地下水を利用し、どちらも水質は良好であり、消毒設備のみで飲用が可能である。また、水道管の更新については、仁鮎は今年度すべて塩ビ管等に更新予定である。富根は今後道路工事とあわせて更新したい、との答弁があった。

(田中)